令和７年度　学校運営連絡協議会実施報告書

１　組織

（１）都立練馬高等学校全日制課程　学校運営連絡協議会

（２）事務局　教務部主任（事務局長）

（３）内部委員（５名）

校長，副校長，経営企画室長，教務部主幹教諭，生活指導部主任教諭，進路指導部主幹教諭，

（４）協議委員の構成（７名）

学識経験者兼同窓会役員２名，近隣小学校長１名，地域の関係機関の代表４名

２　令和７年度学校運営連絡協議会の概要

（１）学校運営連絡協議会（第１～３回）の開催日時，出席者，内容，その他

第１回　令和７年６月１３日（金）内部委員５名，協議委員６名

協議委員委嘱，委員紹介，評価委員の選出

学校経営計画，昨年度の学校運営連絡協議会の課題

本校の現状と課題等説明，意見交換

第２回　令和７年１０月３１日（金）内部委員５名，協議委員７名

授業公開，これまでの教育活動に関する報告

協議委員からの教育活動に対する意見，学校評価の内容検討，協議

第３回　令和８年２月１３日（金）内部委員５名，協議委員４名

学校評価の報告及び学校運営に関する提言，協議

次年度に向けた方向性の確認

（２）評価委員会の開催日時，会場，出席者，内容，その他

第１回　令和７年１０月３１日（金）内部委員５名，協議委員２名

今年度の学校評価の観点・項目，内容の検討，実施時期の検討

第２回　令和８年２月１３日（金）内部委員２名，協議委員２名

アンケート集計結果の分析・考察，課題の整理

３　学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（１）学校評価の観点

・生徒，保護者，教職員が，本校の教育目標･教育方針・教育実践を，どの程度理解・評価しているか。

・生徒，保護者，教職員が，本校の日常の教育活動に，どの程度関心をもち，評価しているか。

（２）アンケート調査の実施時期・対象・規模

・令和７年１２月　全校生徒　３８１名　回収率；５７．７％

・令和７年１２月　保護者全員　１９２名　回収率；２９．１％

・令和７年１２月　教職員全員　２８名　回収率；　７０％

・令和７年１２月　地域　６名

（３）主な評価項目

学校運営，学習指導（習熟度別授業，選択科目，土曜授業，土曜講習等），生活指導，進路指導，特別活動（学校行事，部活動，生徒会活動，ホームルーム活動等），健康･安全，施設・設備について，いじめ防止基本方針について

（４）評価結果の概要　（校長や学校全般への意見・提言内容）

令和７年度学校運営連絡協議会学校評価は，令和７年 12 月に，生徒・保護者・教職員を対象に実施した。生徒回答数は 381 名で，回収率は 57.7%である。保護者回答数は 192 名で，回収率は 29.1%である。教職員回答数は 28 名で，回答率 70%であった。

（５）評価結果の分析・考察

【分析】

1　学校生活について

① 本校に入学してよかったと思うについての設問において，肯定的回答は，生徒は 71%(73%)，保護者は 80%(77%)であった。教職員は 54%(82%)である。

② 学校行事（文化祭・体育祭）は充実していますかという設問において，肯定的回答は，生徒は 82%(76%)，保護者は 68%(68%)であった。教職員は 64%(71%)である。

2　教科指導について

① 授業はわかりやすく工夫され充実していますかについての設問で，肯定的評価は，生徒は 68%(71%)，保護者は 57%(68%)，教職員は 64%(71%)であった。

② 習熟度別授業や少人数授業についての設問において，肯定的評価は，生徒は習熟度別 72%(78%)，少人数 63%(66%)，保護者はそれぞれ 56%(58%)，50%(55%)となっている。教職員はそれぞれ 64%(73%),68%(67%)の回答であった。

③ 夏季講習が学力向上に役立ったと思いますかの設問で，生徒は 41 %(41%)，保護者は 34%(27%)，教員は 43%(65%)であった。

3　生活指導について

① 生徒指導は適切に行われているかという設問では，教員の 46%(64%)が理解を得られていると回答した。また，規則はきちんと守られているかという設問では，生徒は 33%(28%)，保護者は 54%(48%)が肯定的回答であった。

② 本校教員は，あなたの悩みや相談に親身になって対応してくれますかという設問で，生徒は 64%(72%)，保護者は 54%(57%)，教職員は 86%(91%)が肯定的回答であった。

③ 部活動に積極的に取り組んでいますかという設問では，生徒は 80%(83%)，保護者は 67%(69%)，教職員は 75%(80%)が肯定的回答であった。

4　進路指導について

生徒の適性・希望を生かした進路指導を実施していますかの設問では，生徒は 67%(70%)，保護者は 53%(47%)，教職員 71%(85%)が肯定的回答であった。

5　地域アンケートから

「（２）練馬高校生の服装やマナーは好感が持てると思う」について 67 %(100%)であった。

【考察】

生徒・保護者ともに昨年度に比して、肯定的な回答がやや減少している。

1　本校に入学してよかったと感じる生徒，保護者、教員の割合が高い。生徒主体となった行事運営もあり、体育祭や文化祭をはじめとする行事を通して，生徒一人一人の達成感や成就感が高まっていると感じる。

2　募集対策活動では，中学生の減少、私学進学についての実質無償化など、近隣高校含め、受験者数の大幅な低下が例年、続いているが、昨年度に引き続き在校生に学校説明会等での発表の機会を設定し、生徒の活動をアピールすることができた。学校説明会で来校した中学生や保護者からも，高校生と直接交流できることは好評だった。

3　数学・英語の習熟度別授業及び英語・家庭総合（２年）の少人数授業は，３人につき２人程度の生徒が学力向上に役立っていると感じている。一方で３人につき１人割程度の生徒が授業に対してなんらかの不満（授業進度などを含めて）を感じているようだ。

4　家庭学習時間は全くやらないが 57%，30 分未満が 14%となっており，家庭学習に取り組む時間を確保できていない生徒の割合が昨年同様、多い。

夏季講習の有用性については，全体で 40%以上となっており、ある程度の支持が得られている。

5　生活指導については，生徒の 33%(28%)が校則は守られていないと思う実態があるようだ。

清掃や美化運動に積極的に取り組んでいると肯定的に答えた生徒は 36%(44%)。普段のごみの分別状況から見て、生徒にいかに気づかせていけるかが課題である。

6　部活動に関しては８割以上の生徒、７割近い保護者が肯定的意見を述べている。練馬高校での地道な日々の活動が理解されているようだ。

7　進路指導については，多様な進路に進む生徒に対し，個別の丁寧な指導体制をし、「個別指導の練馬」として生徒一人一人にあった進路指導の充実させている。

8　国や都が取り組んでいる教員の働き方改革を踏まえ，教職員の負担軽減や一層の協力体制の構築が求められる。現状は教員の数も減少傾向にあり，校務への影響は当然のこと，生徒指導・教科指導に充てる時間が減少している。この状況を改善しない限り表面的な取り組みだけで練馬高校を「より良く」していくことは難しい状況である。

4　学校運営連絡協議会の成果と課題

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・協議委員から，本校の教育活動に対して具体的な提言をいただくことが出来た。

・学校運営連絡協議会において，各分掌主任に学習指導，生活指導，進路指導等，日常の教育活動について協議委員に報告させることで，課題意識をより明確にできた。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

・生活指導面の取組（交通マナー等），授業の改善と充実，部活動の活性化

5　学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

（1）学校運営

・学校経営計画を指針に，更なる各分掌・学年の組織的な取組みが必要である。

・生徒の変化を定点観測し，学年の課題把握と改善を行い，より良い学年経営を実践する。

・募集活動をより強化し，広報活動を充実させ，本校の取組を外部に周知する。

（２）学習活動

・平常時の放課後補習・試験前補習・長期休業中補習・補講の実施，授業内容のレベル向上等，授業充実に向けた取組みの更なる実践

・教員相互の授業見学及び研究授業の充実と教員の授業力向上

（３）特別活動

・生徒会，委員会活動，部活動を活性化させ，生徒の自主・自立性を育てる。

（４）生活指導

・集団生活で守るべきルールやマナーについて指導し，社会性を身に付けさせる。

・頭髪指導・遅刻指導・身だしなみ指導等をさらに徹底させる。

（５）進路指導

・３年間を見据えた指導計画（夢・人プラン）に基づき，多様な進路目標を持った生徒一人一人に対応した指導を行う。きめ細かな進路指導を行い，生徒の進路希望１００％の実現をめざす。

・学校公募型、総合型選抜等を活用し、生徒の能力を活かした選抜方法により進学実績を向上させる。

・一般選抜希望者を増やし，最後まであきらめない指導を行う。

（６）教職員

・教職員一人一人が組織の一員として，個人の課題を明確にし，学校の課題解決に取り組む。

６　「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

（１）協議委員人数　７人

（２）学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
５	１					１